

しちくほうかつ

発行 京都市紫竹地域包括支援センター TEL 495-6638
発行日 2013年 7月 20日

内 容

- ・ちょっと寄って行こうか、地域のたまり場、しゃべり場…1・2
- ・生活圏域ケアマネジャー学習会より ……3
- ・高齢者に多い疾患について：COPD ……3
- ・ここにこの人あり 地域の世話役さん登場 ……4・5
- ・北区地域介護予防センター 事業のお知らせ ……5
- ・サービス事業所の取り組み……6・7
- ・職員紹介「これから行きたいところ」 ……8

特集 「ちょっと寄って行こうか 地域のたまり場、しゃべり場！」

そうだ、ちょっと寄っていこう…。気軽に行ってお茶を飲んだりおしゃべりしたり楽しい催しがあったり…。そんな「地域のたまり場、しゃべり場！」を特集しました。

各サロン共通質問項目 ①運営主体 ②住所 ③電話番号・窓口の方 ④利用対象 ⑤利用できる日時
(スケジュールなど掲載していただきます。) ⑥開設までの歴史やエピソード、特徴やアピール点など

「ほっとホットふれあいサロン」 紫竹学区 健康すこやか学級

- ① 紫竹民生児童委員協議会・紫竹老人福祉員・紫竹学区社会福祉協議会
- ② ふれあいサロン・紫竹会館・紫竹児童館など案内に毎月の開催場所を記載しています。
- ③ 紫竹民生児童委員会 会長 安田 勲二さん
TEL 075-491-0687

- ④ 紫竹学区にお住いの高齢者の方
- ⑤ 予定 一部紹介
・脳トレニング 8月10日(土) 午後1:30～3:00 紫竹会館
- ・紫竹まつり お立ち寄りテント 9月7日(土) 午後3:00～8:30頃 紫竹小学校校庭
- ・音楽療法♪リズムにのって♪ 10月10日(木) 午後1:30～3:00 紫竹会館

平成18年から始まった「ほっとホットふれあいサロン」の立ち上げメンバーの一人である紫竹民生児童委員会 会長 安田勲二さんにお話を伺いました。

◆どのような流れで開設に至ったのですか？◆

「高齢の方々をはじめ地域の皆さんが、より一層健やかに安心して暮らせる、そのための楽しい交流の場になれば…。気軽にお茶でもご一緒しながらおしゃべりがはずむ、ほっとして、かつ熱いほっとホットな、そんな場所と時間を作ろう」そのような思いで紫竹民生児童委員協議会・紫竹老人福祉員の皆さんで始めました。平成21年度からは紫竹学区社会福祉協議会も運営に加わり、「紫竹学区健康すこやか学級」として毎月1回開催しています。

◆苦労話やエピソードなどありますか？◆

初めはゲストよりスタッフの方が人数も多かったです

が、民生委員・老人福祉員の訪問活動の中で、お一人暮らしの方や外にあまり出ることが無い方などにお声を掛けるようにしました。初めてで勇気が出ない方でもスタッフがさそって、楽しい時間を過ごされると定期的に来られる方が徐々に増えていきました。地域の中で、多少貢献できたのではないかと思います。

◆プログラムを計画するにあたって、大切にされていることは？◆

毎年テーマは同じ様なものでも、毎回内容は講師に工夫してもらって変えています。健康で過ごせるよう体操・脳トレ・栄養などの教室を開いたり、高齢者にとって安心して暮らせるよう消防署から、火の用心の話、警察署と防犯推進委員から消費者被害の予防なども盛り込んでいます。そして子供との交流です。年に何度かは児童館の子供たちとの交流の機会も作っていてリズム遊びやマジックの鑑賞など一緒に手をつないで触れ合えると笑顔であふれています。それと「笑い」と「歌」は大切にしています。4月は歌を皆さんで歌いましたが、ボケない小唄(松の木小唄の替え歌)は皆さんがニコニコしながらの大合唱でした。歌って笑うと良いですからね。



紫竹民生児童委員・老人福祉員さん方の手作りで始まったほっとホットサロン「紫竹学区 健康すこやか教室」は、紫竹学区の中で地域の方の触れ合いや楽しいひとときを気軽に味わえるその名の通り「ほっとホット」な場所だと感じました。行くとスタッフの皆さんが「よく来てくださいましたね～」と笑顔で迎えてくださいます。皆さん、お気軽に行ってみてくださいね。(聞き手:小林舞見)